

美里町

misato

観光ガイドマップ



公園・施設

花と水と緑あふれるこのまちで、思いっきり遊べば、カラダに元気が満ちてくる。



遺跡の森総合公園 D-3
遺跡の森総合公園は、健康・文化の核として整備された公園です。園内には、遺跡の森館や多目的グラウンド、テニスコート、コミュニティセンターなど、たくさんの施設が集まっています。



ターゲットバードゴルフ

テニスコート

多目的グラウンド



美里町駅前情報館 C-3
JR八高線松久駅前の情報館。町の観光情報の発信地となっています。観光ポスターや町内マップが掲示しており、美里町の見どころがよくわかります。



身馴川公園 B-2

水と緑が気軽に親しめる親水公園です。浅瀬で水遊びができるスペースやすべり台、アスレチックなどの遊具もあって、親子連れでにぎわいます。



ウォーキングロード B-2

爽やかな風を頬にうけながら、ウォーキングやサイクリングで気持ちの良い汗を流してみませんか。町内ではウォーキングロードが整備され、多くの方に利用されています。

特産

太陽の恵みたっぷり、甘い「宝石」をほおぼさう！



ブルーベリー
6月上旬～8月下旬

国内最大規模の植栽面積を誇るブルーベリーのまち・美里町。植栽品種が多く、収穫期間が長いので、色々な甘味・酸味を楽しむことができます。町内には約20戸の観光農園が点在し、多くの観光客でにぎわっています。

観光農園開園期間

早生種 6月上旬～7月中旬
晩生種 7月中旬～8月下旬



旬の時期を Check!

エゴマ

10月中旬～11月下旬

シソ科の植物であるエゴマは特有の香りがあるため、イノシシやニホンジカの食害を受けにくいとされており、円良田地区のほか町内各地で栽培されています。また、円良田特産センターでは、エゴマを搾油し販売しています。



JA美里万葉の里直売所 E-3



地元農家が生産した採れたて野菜や果物を販売しています。6月上旬から8月下旬には、青葉の真珠のような美里のブルーベリーが棚一面に並びます。
住所 美里町大字猪俣2321-1 営業時間 9:00～18:00
休業日 年中無休(年末年始は休み) TEL 0495-76-2104

円良田特産センター F-2



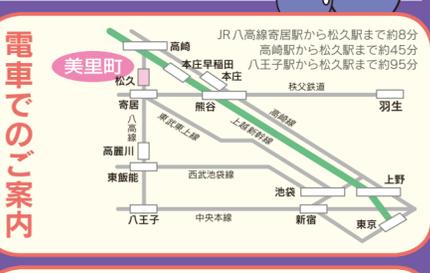
しいたけ、たけのこ、山菜、エゴマなど円良田地区の様々な特産品を販売しており、元気な地元の方たちが活躍中の地域密着型のお店です。また、搾油機を導入し、エゴマ油の販売を行っているほか、委託搾油も行っています。
住所 美里町大字円良田508 営業時間 9:00～15:00
休業日 毎週月・金曜日、年末年始 TEL 0495-76-3710

武蔵野市場 E-3



町内の野菜を中心に、採れたての新鮮野菜や果物が店頭並びます。また、草花・工芸品・金魚・メダカなども販売しています。
住所 美里町大字猪俣1471-1 営業時間 3月～9月 9:00～17:30
10月～2月 9:00～17:00
休業日 年中無休(年末年始12/31～1/3は休み)
TEL 0495-71-7860

アクセス



お車でのご案内



美里町プロフィール

ゆるキャラグランプリ 2016 第8位
美里町は、東京都心より80km、埼玉県の北西部に位置し、東部は深谷市、北部は本庄市、南部は寄居町及び長瀬市にそれぞれ隣接しています。面積は33.41km²、東西5.5km、南北9kmと南北に長く、南部の山間地帯と中央以北の平地により構成されています。

美里町・美里町観光協会

〒367-0194 埼玉県児玉郡美里町大字木部323-1
TEL 0495-76-5133 (役場農林商工課・観光協会事務局)
FAX 0495-76-0909
町ホームページ http://www.town.saitama-misato.lg.jp/
観光協会ホームページ http://www.misato-kanko.com/

歴史・文化財

はるか万葉の彼方から、歴史の足音が聞こえてくる。



水殿瓦窯跡 B-2 国指定文化財
すいでんかわらかまあと
鎌倉時代の瓦窯跡で、調査により4基が確認されています。ここから出土した瓦は文治5年(1189)に源頼朝が建立した鎌倉市二階堂永福寺跡から発見された瓦と似ており、この瓦窯跡で焼かれた屋根瓦が永福寺の大改修の際に使用されたと考えられています。



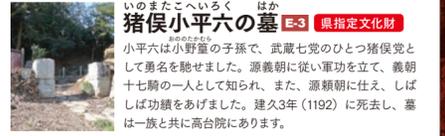
瓦塔・瓦堂 D-3 国指定文化財
がとう がつどう
甘粕地区の東山遺跡から発見された小型の塔と堂です。粘土を焼いてつくったこれら土製品は平安時代の作といわれ、寺院の五重塔や金堂に似せてつくられています。これは寺院を建てる代わりにつくられたもので、信仰の対象として大切に建物の中に置かれていたと考えられています。



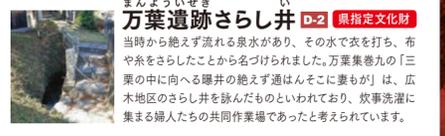
白石古墳群久保地区第2号墳馬形埴輪 D-2 町指定文化財
しろいしこふんぐんくほくちゅうごうふんまがたはにわ
久保2号墳の石室は無袖短冊型横穴式石室で、直刀や馬形埴輪などが多数見つかりました。馬形埴輪の鞍部は、左側に足をかける輪縁、右側に水平板が表現されており、古墳時代の騎乗方法を知らうえて貴重な資料です。



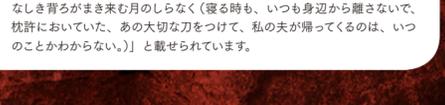
猪俣南古墳群 第2号墳 人物埴輪 E-3 町指定文化財
いのまたみなみこふんぐん
第2号墳の石室は騎馬両袖型横穴式石室で、埴丘から人物・円筒・家形埴輪や土師器の坏が発見されました。人物埴輪は4体出土しており、頭に壺を乗せて運ぶ女性の埴輪は耳飾り等の装飾品をつけていることから、古墳時代の女子の様相や生活を知るうえで貴重な資料です。



猪俣小平六の墓 E-3 県指定文化財
いのまたこへいりく
小平六は小野軍の子孫で、武蔵七党のひとつ猪俣党として勇名を馳せました。源義朝に従い軍功を立て、義朝十七騎の一人として知られ、また、源頼朝に仕え、しばしば功績をあげました。建久3年(1192)に死去し、墓は一族と共に高台院にあります。



小型宝塔・小型持蓮華 C-2 県指定文化財
このたけほうとう
高さ4センチ前後の極めて精巧に作られた金属製小型塔と小型持蓮華。広木の土宿遺跡から金、銀、銅、鉄、金銅と異なる材質のものがセットで出土しています。



万葉遺跡 D-2 県指定文化財
まんよういせき
当時から絶えず流れる泉水があり、その水で衣を打ち、布や糸をさらしたことから名づけられました。万葉集巻九の「三粟の中に向へる躰井の絶えず通はんそこに妻もが」は、広木地区のさらし井を詠んだものといわれており、炊事洗濯に集まる婦人たちの共同作業場であったと考えられています。

祭・伝統

先人達から受け継がれた時間と、思いを馳せて。



美里夏まつり花火大会 E-3

みさとなつ
はなびたいかい
毎年8月15日の夜、猪俣の百八燈行事のあとに行われます。堂前山の屋根に浮かぶ108つの灯とあわせ、数千発もの大輪の花火が夜空を鮮やかに彩ります。県内の花火師が腕を競って開催されるスターマインコンクールは、多彩な演出が施されており見どころ満載です。また、打ち上げ場所から間近で観覧できるのが魅力で、花火の迫力は感動すること間違いなしです。

会場：美里町大字猪俣1471-1 (大会本部：武蔵野市場内) E-3
観覧場：当日会場周辺に約1500台程度



猪俣の百八燈 E-3 国指定無形民俗文化財
いのまた ひゃくはつとう
猪俣地区は、平安時代末から鎌倉時代にかけての武将 猪俣小平六範綱ゆかりの地です。「猪俣の百八燈」は毎年8月15日に行われる盆祭りの行事で、小平六とその一族の霊を慰めるためと伝えられており、400年以上続いています。行事は準備を含め、地元の青少年がすべてを取りしきり、大人の介入がないのが特色です。高台院にて、猪俣氏の霊に拜礼後、笛・太鼓の拍子に合わせた「提灯行列」が塚のある堂前山へと向かい、108の塚に火を灯すと行事はクライマックスを迎えます。また、当日高台院に集まると、提灯行列に参加することもでき、子どもたちが塚に火を灯すところを見学できます。



関の獅子舞 B-4

せき
ししまい
10月中旬に児玉神社の秋季大祭に奉納される獅子舞です。今から約300年前の享保年間(江戸時代)に、相模の国の人がこの地に来て教えたのがはじまりと伝えられています。



駒衣の伊勢音頭 C-3

こまぎぬ いせおんど
駒衣の伊勢音頭は、毎年7月下旬に地元の稲荷神社で行われています。今から300～400年前に、この地の村人が伊勢参りに際して習い覚えたのがはじまりと言われています。

